
遊戯王 ～プラネットシリーズと共に～

朱雀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王 ～プラネットシリーズと共に～

【Nコード】

N4844Z

【作者名】

朱雀

【あらすじ】

引越した友人から貰った謎のカード、The supremacy SUN。ひょんなことから、プラネットシリーズを集めることになった主人公 佐藤達也はどのような運命を辿るのだろうか。処女作で不定期更新ですが、温かい目で見守ってあげて下さい。

ブログ（前書き）

初投稿で不定期更新ですが、よろしく願います。

プロローグ

プロローグ

??? side

「本当に行っちゃうんだな。」

「ああ、できれば卒業までは一緒に居たかったな。達也。」

そろそろ、日が沈みそうな時間に二人の少年は向かい合う。

「そうだ、俺が引越す前にこのカードをあげようと思ってたんだ。受け取ってくれ。」

「? ああ。わかった、じゃあな。また会おうぜ。」

立ち去ろうとする親友に手をふりながら、俺はそのカードをみる。

The supremacy SUN

俺の見たことのないカードだ。家に帰ろうとした時、何かの声が聞こえたが俺はそのまま家に帰った。

~~~~家~~~~

机の前でまた、貰ったカードをまじまじと見る。イラストは男の顔をした悪魔の後ろに黒い太陽があるような感じた。このカードを貰

つてから、度々何かの声が聞こえるが何なのだろう。

「まあ、考えても仕方ないか。」

「……お前は私を使いこなせるか。……」

「え？」

また、声がきこえた。

「……フッフ、やっと声がきこえたな。……」

「っ！　だれだ、おまえは！」

声の主もわからぬまま、自分の頭に響いてくる声に俺は戦慄する。

「……しかし、おまえが私を持ち、プラネットシリーズを集めるのに適しているかを調べるものが必要だな。……」

何を言っているんだ？　そして、俺の頭に直接響いていることになる。

「……さあ、デュエルを始めよう。……」

俺の目の前に、俺が今まで見たことも無かった黒いデュエルフィールドが広がり、俺が持っていたThe SUNのイラストから悪魔が消え、目の前に立っていた。

「くっ！」

俺は本能的にデュエルディスクを構え、The SUNの手にもデュエルディスクができていた。

「決闘!!」

達也 vs SUN 1 (前書き)

いきなりSUNとのデュエルです。

達也 vs SUN 1

．．．．．まずは私のターンからだ。．．．．．

．．．．．ドロー。私はモンスターを一体伏せ、カードを二枚セット。ターンエンドだ。．．．．．

「俺のターン。ドロー。」

SUNのデッキがわからない今、まずは様子見からだろう。

「俺は、ダーク・グレファアーを召喚。さらに、ダーク・グレファアーの効果発動。手札の堕天使ゼラートを捨て、デッキから堕天使スペルビアを墓地へ送る。いくぞ、バトル！　ダーク・グレファアーでセツトモンスターに攻撃！」

ダーク・グレファアーがセツトモンスターを切りつける。

グレイブ・スクワーマー

．．．．．グレイブ・スクワーマーの効果発動。ダーク・グレファアーを破壊する。．．．．．

地面から、グレイブ・スクワーマーが出てきて、ダーク・グレファアーを道ずれにしていく。正直、気持ちが悪くなる光景だ。

「俺はカードを二枚セットしターンエンド。」

．．．．．まで。エンドフェイズ時に、魔法発動。終焉の炎。黒炎



トークン二体を特殊召喚する。．．．．

これは、まずい。黒炎トークンは、闇属性モンスターのアドバンス召喚に使用できる。そして、SUNは闇属性。次のターンにはSUNが出るかもしれない。俺のセットカードでどうにかなるのか？

達也

8000 手札二枚

ダーク・グレファア セットカード二枚

SUN

8000 手札三枚

黒炎トークン二体 セットカード一枚

．．．．私のターン。ドロ。私は黒炎トークン二体をリリースし、The supremacy SUN、つまり、私を召喚。．．．

ちっ、やはりきたか。

．．．．バトル。SUNでダーク・グレファアを攻撃。．．．．

黒い光線がダーク・グレファアへ発射される。

たしか、さっき見たときSUNの効果は、破壊され墓地へ送られた次のスタンバイフェイズ時に手札を一枚捨て、墓地から特殊召喚だ

った気がする。ならば、除外すればいいだけだ！

「畏発動！次元幽閉！SUNをゲームから除外する！」

．．．．．甘いぞ。畏発動。王宮の鉄壁。カードはゲームから除外されなくなる。．．．．．

まずい。SUNの一番の弱点、除外が封じられてしまった。たしかに、蘇生効果も特殊召喚で奈落の落とし穴などにかかりやすいため、除外対策は必須だろう。そして、ダーク・グレファアが光線に飲み込まれ破壊されてしまった。スペルビアを落とせただけいいとはいえ、モンスターがいなくなってしまった。

．．．．．私はモンスターを一体セットし、ターンエンドだ。．．．

あの、セットモンスターは何だろう？ また、グレイブ・スクワマーのような除去モンスターなら、次のターン、俺は3000のダメージを受けてしまうかもしれない。

「俺のターン。ドロー。」

悪くない。墮天使アスモディウスだ。

「俺は、手札からヘカテリスを捨て、デッキから神の居城・ヴァルハラを手札に加え、そのまま発動。さらに、神の居城・ヴァルハラの効果で墮天使アスモディウスを特殊召喚。墮天使アスモディウスの効果を発動し、アテナを墓地へ送る。バトル！墮天使アスモディウスでセットモンスターに攻撃！」

墮天使アスモディウスの翼がセットモンスターを切り裂く。

ライトロード・ハンター    ライコウ

．．．．．ライコウの効果により、神の居城・ヴァルハラを破壊。  
さらに、自分のデッキの上からカードを三枚墓地におくる。．．．．

．  
墮天使アスモディウスを破壊しなかったのは、それよりも天使を特殊召喚する神の居城・ヴァルハラを破壊しておくべきだと思ったのだろう。墮天使アスモディウスはあとで相打ちし、自分だけ復活すればいいし。

「俺はターンエンド。」

達也

6700    手札一枚

墮天使アスモディウス    セットカード二枚

SUN

8000    手札二枚

SUN    王宮の鉄壁

．．．．．私のターン。ドロ。．．．．

さあ、このターン、どう動く？



達也    v s    S U N    1 (後書き)

どうでしたか？

ライフポイント8000のデュエルは長いですね。

## 達也 vs SUN 2 (前書き)

SUNとのデュエルの続きです。汎用カード使いすぎですね、すいません。まあ、どう考えても、あるカードの下位互換になるカードは使いませんけど。

## 達也 vs SUN 2

「……私は、カードガンナーを召喚し、効果発動。デッキの上から三枚墓地へ送り攻撃力が1900になる。バトルフェイズ。SUNで堕天使アスモディウスに攻撃。……」

SUNの黒い光線と堕天使アスモディウスの翼がぶつかり合い、お互いにフィールドから消える。

SUNはいなくなったが、地面からSUNの威圧感が感じられる。

「だが、ここで堕天使アスモディウスの効果発動！ アスモトークンとディウストークンを守備表示で特殊召喚する。アスモトークンは効果で破壊されず、ディウストークンは戦闘で破壊されない！」

堕天使アスモディウスのミニチュアのような赤と青のトークンがフィールドに出てきた。

よし、アスモトークンはカードガンナーに破壊されるだろうが、ディウストークンは戦闘破壊されないため、SUNの攻撃をしのげる！

「……ならば、カードガンナーでアスモトークンに攻撃。さらに、魔法発動。ブラックホール。カードガンナーとディウストークンを破壊する。……」

「なんだって？」

「……カードガンナーが破壊された場合、デッキからカードを一枚ドロースる。私はこれでターンエンド。……」

「俺のターン。ドロー。」

・・・スタンバイフェイズ時、手札を一枚捨てSUNを特殊召喚する。・・・

今引いたカードは死者蘇生。そして、セットカードはリビングデッドの呼び声。勝てる！ 本当は前のターンにも大ダメージを与えることができたのだが、ゴーズが怖かった。ゴーズを出されるとあの状況ではなにもできないからな。案の定、今SUNは最初から持っていたであろうゴーズを捨て、SUNを特殊召喚した。でも、これでも怖いものはない。

「俺はリビングデッドの呼び声を発動。墓地から、堕天使スペルビアを特殊召喚。さらに堕天使スペルビアの効果発動、墓地から堕天使ゼラートを特殊召喚。堕天使ゼラートの効果発動、手札を一枚捨て、相手

フィールドのモンスター全てを破壊する。」

・・・ぐっ・・・

「さらに、死者蘇生発動。SUNを自分フィールド上に特殊召喚する。」

禍々しい悪魔が自分の目の前に出てくる。

・・・ほう。これで全てのモンスターでダイレクトアタックすれば、お前の勝ちか。・・・

「ああ。これでどうだ？」



黒いフィールドが消え、俺はいつもの机の前に戻っていた。

達也    v s    S U N    2 (後書き)

いかがでしたか。お気に入り登録して下さい。皆さん、ありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4844z/>

---

遊戯王 ～プラネットシリーズと共に～

2011年12月16日22時50分発行